

いちご栽培管理 (R7.9.)

(有) 丸 富

8 月は前半が猛暑・干ばつで、高温湿害による根傷み、薬害、害虫の発生など、苗の生育が悪かった。後半は各地で洪水災害やスリップス、ホコリダニ、タンソ病等病害虫の発生が多かった。遠日点の影響でやや徒長傾向だった。

花芽分化促進

定植 20 日前から出来る限り夜温を下げて花芽分化が誘導するよう、例えば冷たい氷水を散水するなど、苗を冷やし刺激を与える工夫を行う。

C/N 比向上に**サンミネーラ 3,000 倍**と**酸カル 1,000 倍**(時を越えた贈り物 1,000 倍)を散布する。

芽なし株対策

定植前に長期間肥料が切れると、芽なし株の発生が多くなる。芽なし株の発生は病害で枯れるのと同様に減収になる。定植前の苗の肥培管理で芽なし株対策を行う。

芽なし株対策に**天地の恵み 500 倍**と**サンミネーラ 5,000 倍**を定植 20 日前から 5 日毎に散水・灌注する。

病害対策

遠日点ではウドンコ病や灰黴病など病害の発生が多くなる。硝酸態窒素が多いと、病害の発生も多くなる。タンソ病など罹病株は出来る限り早く撤去する。健全な株だけを残す。

窒素消化促進に**時を越えた贈り物 1,000 倍**と**酸カル 2,000 倍**と**サンミネーラ 10,000**を防除時に混用する。

害虫対策

近日点では害虫の発生が多くなるので、周辺の環境変化(除草、草刈り、防除)にも注意して観察を行う。

害虫の繁殖抑制に**バイオアクト TS 2,000~3,000 倍**を防除時に混用する。

灌水時、散水時に**バイオアクト TS 50~100 cc/10a**を混用して、害虫の飛び込みに事前対応する。

発根促進

定植後はできる限り早く根づくりを行う。根づくりでは直根だけでなく、細根(吸収根)が大切である。

発根促進に**天地の恵み 1,000 倍**と**G バランス DF 5,000 倍**を定植後、すぐに 2 回、灌注(散水)する。

追肥(液肥)

施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥 0.2~0.3 kg/10a

時を越えた贈り物(又は、天地の恵み) 100~200 cc/10a

サンミネーラ 50~100 cc/10a

バイオアクト TS 70~100 cc/10a

5~7 日毎に灌注、散水する場合

※状況に応じて加減する

※サンミネーラの代わりに

シリアップ 100~200 cc、天然ミネラル 200~300 cc、海藻のエキス 50~100 g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富

TEL (0942) 65-0123

FAX 0942-65-1091 (24 時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)